



瀬野 せの喜代の 区議会ノート

区議会での会派は民主党・市民の会です

2009・春
第30号

介護
子育て
環境

<http://senokiyo.sakura.ne.jp/> ホームページは【せの喜代】で検索してください

〒116-0013 荒川区西日暮里2-13-8 TEL/FAX:03-3891-0203 E-mail: senok@kfx.biglobe.ne.jp

区議会ノートあるいはミニ通信を本会議開催ごとにお配りしています。毎号の購読をご希望の方はぜひご連絡ください。ホームページは随時更新していますので、こちらもぜひ、ご覧ください。

経済危機
だからこそ

持続的な地域発の経済活性化、 社会福祉の建て直しのチャンス

国にモノをいい、区としてできることに果敢に取り組んでいく区政を

人口20万をこえ、自主財源比率も32%と少ないながら徐々に上昇している中、一般会計予算は862億円で過去最大。

800兆を越える国と地方自治体の財政赤字、東京と地方の格差、今後の税収の減少を考えると、区財政の課題は多い。区民の経済状況をかんがみて、特段の配慮が必要である。

今年度からのあらかわ区政戦略プランの第一に区と区民との協働が掲げられた。大いに期待したい。

区民の安心の砦をめざせ



- 昨年末、23区初で示した緊急雇用経済対策（臨時職員の募集は不人気なので工夫が必要）
- 今年3月、ベテラン職員による、総合窓口「しごと生活サポートデスク」の設置
- 介護保険料を12の区分に細分化して低所得者にとっては値下げ
- 施設介護利用者の勤労者の平均年収以下の所得層に対し、食費・住居費の補助の開始

「人間ドッグ全額公費負担＝議員特権」という誤解について

産経新聞に「議員特権?! 全額公費負担の人間ドッグ」と報道された後、幹事長会として関連予算の凍結を区に申し入れる事態となった。

そもそも、議会費の予算案について幹事長会の議題となったのは、予算案マスコミ発表の前日。これから検討しようというときに「議員特権」の報道があって驚いた。荒川区議会では、予算可決後、実施方法は幹事長会で具体的に議論するのが通例。全額補助はありえないと思うが、誤解を生じたことも事実。原因は、**次年度予算について議員が事前に検討する仕組みになっていないこと**。今後は、「議会運営委員会等で議会費について検討してから予算案に計上するよう区に求める」という形をとるべきだと思う。

現在、23区で議員健診を行っていない区は4区、行っている区でも費用は職員健診並の一人7000円から70000円程度まで、いろいろである。荒川区は現在18000円の健診だが、希望者は人間ドッグの一部負担に切り替えてもいいと私は思う。現在、議員の受診率は60%という。

ちなみに、私は、体に負担がかかるような健診は受けていない。「食養生と体操とで、体調を管理し、痛みが出たら、治療する」という人生を実践したい。

この問題についてテレビ朝日が報道番組を放映したが、横暴な取材姿勢のため、議員有志で放送倫理・番組向上機構(BPO)に申し立てを行った。(詳しくはP4)